

## 国道 46 号角館バイパスの効果【延伸開通から 1 年】

平成 22 年 7 月 31 日の延伸開通から 1 年が経過した国道 46 号角館バイパスの整備効果についてお知らせいたします。

- ① 大型車がバイパスに転換し、現道の大型車が約 7 割減少。
- ② 沿線住民の約 6 割が安全性向上を実感。



○ 市街地を通る大型車が 7 割減

整備前: 1,450台

整備後: 470台

○ 通過時間が 4 分短縮

整備前: 9分

整備後: 5分

○ 住民の 6 割が歩行者の安全性向上を実感

整備後: 60%

※詳細については別添を参照してください。

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

TEL 018 (864) 2289

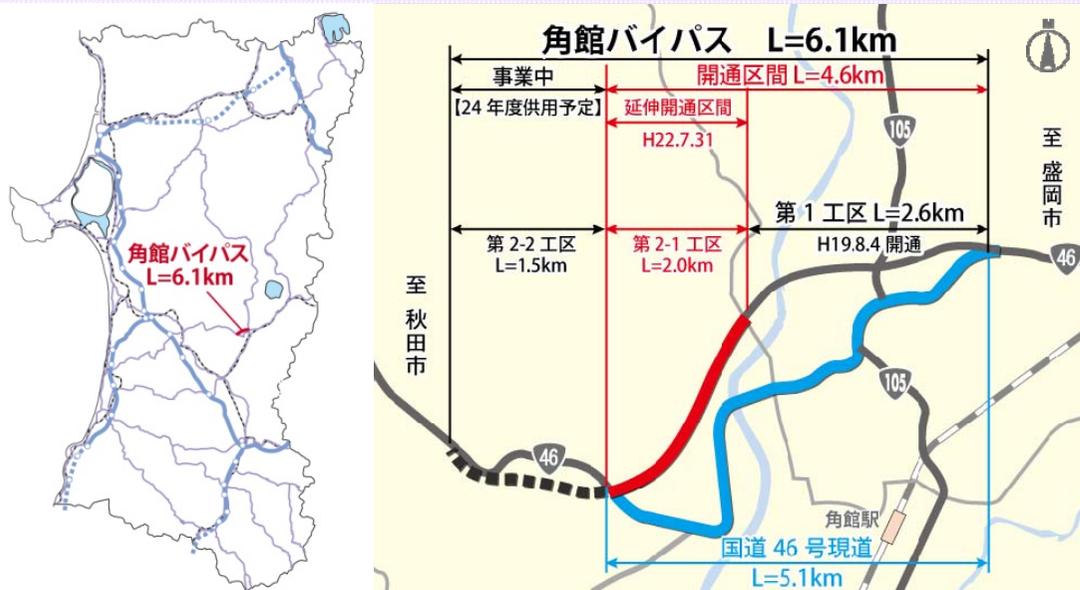
調査第二課長： 田村 寿 (内線 451)

一般国道46号

# 角館バイパスが 延伸開通して1年

(平成22年7月31日 延伸開通L=2.0km)

- ①大型車がバイパスに転換し、現道の大型車が約7割減少。
- ②沿線住民の約6割が安全性向上を実感。



バイパス開通前の国道46号現道

【市街地への大型車流入】

【観光期:GWの混雑状況】

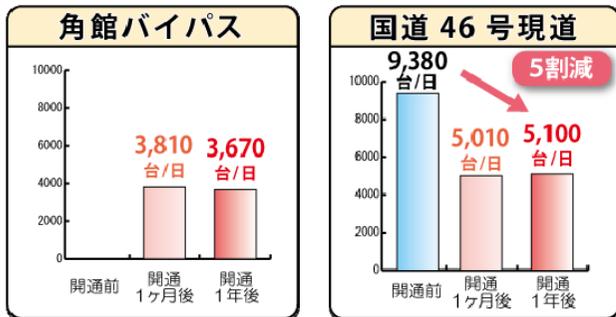


- 市街地を通る大型車が7割減 整備前:1,450台 → 整備後:470台
- 通過時間が4分短縮 整備前:9分 → 整備後:5分
- 住民の6割が歩行者の安全性向上を実感 整備後:60%

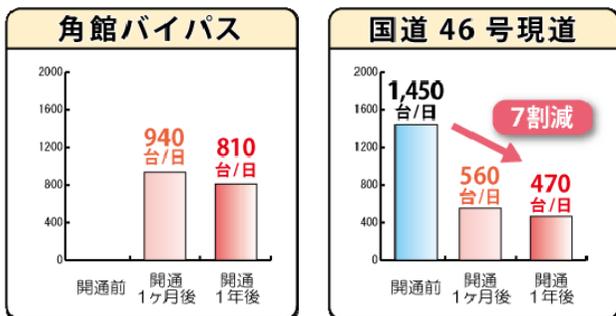
事業期間:平成9年度～事業中  
総事業費:約230億円 (H22開通区間:約50億円)  
延長:6.1km (H22開通区間:2.0km)  
幅員:12.0m (暫定) 【自動車専用道路】

# ①大型車がバイパスに転換し、市街地の大型車が約7割減少。

○国道46号現道の総交通量が約5割減少。  
▼ 総交通量



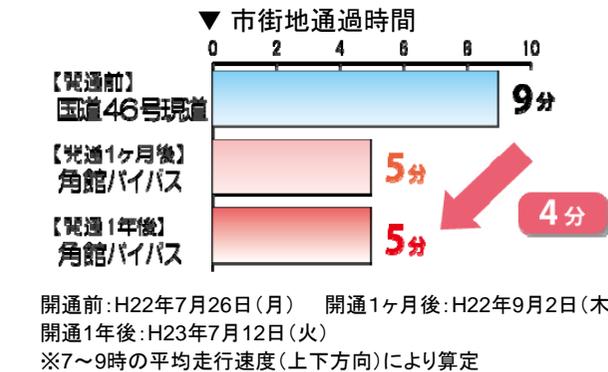
○大型車交通量が約7割減少。  
▼ 大型車交通量



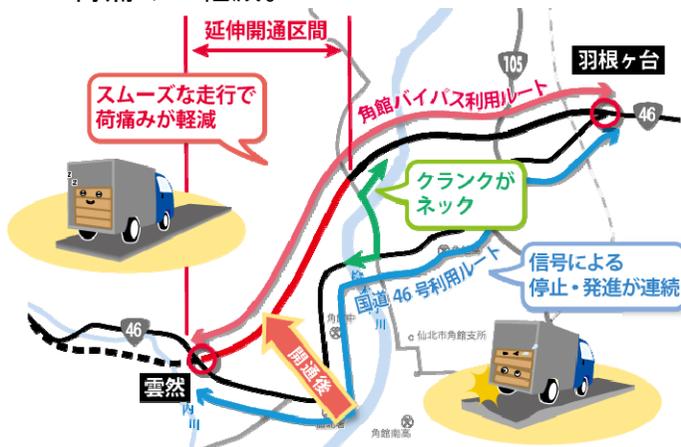
開通前: H22年7月26日(月) 開通1ヶ月後: H22年9月2日(木)  
開通1年後: H23年6月29日(水)



○市街地の通過時間が4分短縮。



○角館バイパスはスムーズな走行ができ、荷痛みが軽減。



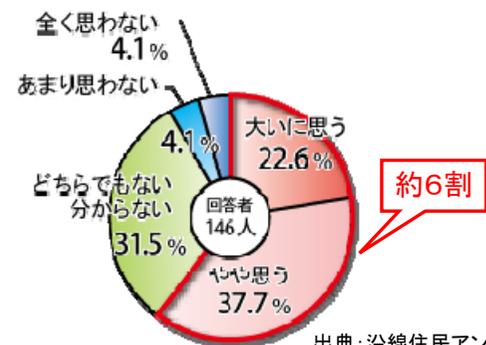
**ドライバーの声**

- ・発進・停止の減少により**疲労軽減、燃費の向上**に効果がある。
- ・開通前は右左折(クランク)よりも直進(現道)を選択することが多かった。

出典: 物流ドライバーアンケート

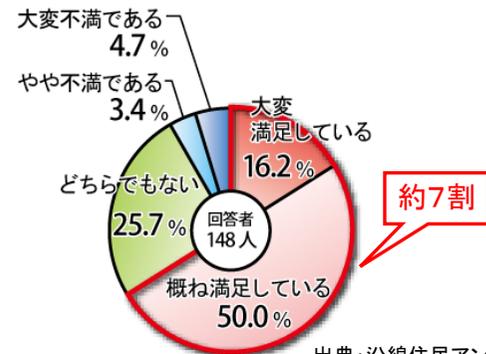
# ②沿線住民の約6割が安全性向上を実感。

○国道46号現道においては、約6割の方が歩行者の安全性向上を実感。



出典: 沿線住民アンケート

○角館バイパス整備に対し、約7割が「大変満足」または「概ね満足」と回答。



出典: 沿線住民アンケート

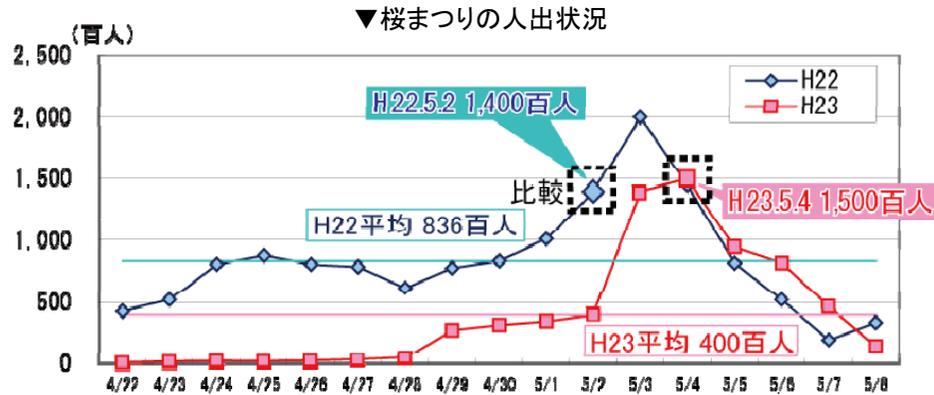
**自由意見**

- ・角館を通過する車両には**とても効果的**だと思います。
- ・とても便利になったので**もっと秋田方面まで楽に行けるようにのびて欲しい**。

# 【参考】観光期におけるピーク時の渋滞が大幅に緩和

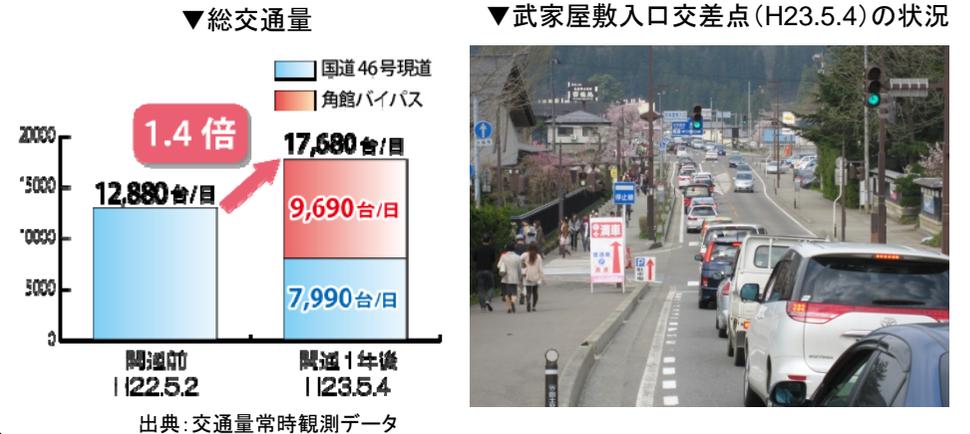
・桜まつりの人出が同程度の日の交通状況と比較。

○人出が同程度のH22.5.2とH23.5.4を対象として交通状況と比較。



①交通量が1.4倍に増加。

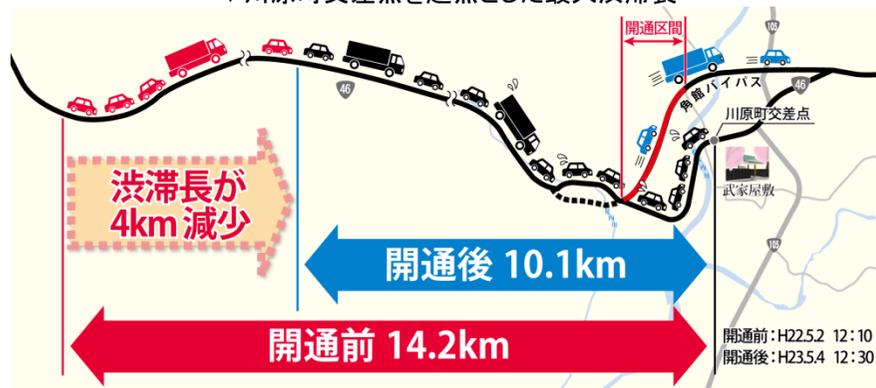
○バイパスの延伸開通前に比べて、交通量が1.4倍に増加。



②渋滞長が約4km減少。

○バイパスの延伸開通前に比べて、渋滞長は約4km減少(3割減)。  
○500m以上の渋滞時間も9時間から6時間に減少(3割減)。

▼川原町交差点を起点とした最大渋滞長



③まつり来訪者の約7割が効果を実感。

○まつり来訪者の約7割が混雑緩和効果を実感。  
○さらに5割は来訪回数が増加。

▼角館バイパス利用者の満足度

